

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設管理者	四季の森公園
指定期間	横浜緑地・西武造園グループ
施設所管課	H21.4.1 ~ HH27.3.31
	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

今期の利用者は、3月の桜の開花時期が昨年に比べて早まったことにより、昨年度の同時期と比較して約6.8%の増となった。収入支出については、収入に対して支出が約9%増となっており、概ね良好な結果である。維持管理についても概ね良好な管理が行われている。イベント等の開催については「防災フェスタ」を新たに開催し、東日本大震災の教訓と非常時における公園の役割と体制作りを進め、また、苦情・要望等に対する対応状況も概ね適切に行われていることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	11月30日	○	○	○	無	
11月	12月7日	1月9日	○	○	○	無	
12月	1月9日	2月7日	○	○	○	無	
1月	2月8日	3月8日	○	○	○	無	
2月	3月8日	3月27日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月30日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	○里山の多様な動植物と出会う公園の創造 ・平成21年度に人為的植栽部分を、平成22年度に本公園の多様性を特徴付ける里山雑木林の林縁部分に生息する動植物の調査を行い、生物多様性を維持する管理方法を検討し実施しました。平成23年度はその結果を踏まえ、公園植生や種保全、生物多様性をさらに維持できる具体的管理計画と管理目標を立て実践しました。平成24年度も引き続き実践と検証を行いながらその有効性を高め雑木林内部の植生保存に有効な管理方法についてさらに検討を行います。また樹名板をボランティアや近隣小学校と共同で設置し、来園者に多様な植物を紹介をします。	平成23年度から公園の希少種、あるいは当公園を特徴付ける植物の生活史に合わせた管理を実施してきた。その結果として里山の植物であるクマガイソウの群落の増大、新たな自生地の出現やリンドウなどの復活などが確認された。早春のカタクリの群生地も拡大したことで、柵と階段を新設し、多くの来園者に鑑賞していただくことができた。公園ボランティアである四季の森里山研究会と共に、近隣の緑区森の台小学校と旭区の四季の森小学校に野外学習としてのこどもたちに計73枚の樹名札を制作していただき、全員参加で設置をした。

	提案内容	実施状況
2	<p>○地域住民とともに安心安全な公園を創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度、22年度、23年度に、現在活動している公園愛護会や、公園を頻繁に訪れる方々と犯罪防止に向けた話し合いを行いました。平成24年度もこの会合を継続し、公園安全性向上へ協力を得るように努めます。また引き続き地域住民の方々に、公園で実施する防火訓練、避難訓練への参加をお願いします。 	<p>公園愛護会やボランティアガイドなどの方々と話し合いを行い、犯罪防止に向けたパトロールを行っていただいた。消防署、消防団、地元自治会、公園愛護会、が参加する消防訓練の実施に加え、震災について地域で考える防災フェスタ2012というイベントを企画し、消防署や消防団に加え、自治会、CSR企業、アマチャア無線団体などの出店協力をいただき開催した。また東日本大震災を記憶するための防災クイズラリーを開催した。地元の避難訓練にも広域避難所施設として出席し、地域との連携に努めた。</p>
3	<p>○計画的な間伐・枝下し等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度、22年度はボランティアと協議し、ピクニック広場付近の森を間伐し、平成23年度は水田北側の森の間伐を始めました。平成24年度も同地区の整備を進めます。また平成21年度に北西道路の、22年度に西側道路の、23年度に横浜病院側に接した公園樹木の枯木・越境樹枝下ろしをしました。平成24年度は北側部分の近隣に接する樹木の枝下ろしを行います。 	<p>平成23年度から始めた水田北側の森林整備を継続して行った。ここでは日照が改善しクマガイソウ、キンラン、フデリンドウの復活が確認されている。今後の取組として蓮池右岸の里山でかつて行われた皆伐更新の雑木が成長し、間引きが必要であり、その調査方法、廃材の流用、説明についての検討をボランティアと協議を行う予定。区域を決めて行っている樹木管理は公園北側部分の近隣に接する樹木と駐車場常緑樹の枝下ろしを行った。</p>
4	<p>○コーディネーターノウハウを活かしたサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度も引き続き副所長をパークコーディネーターとしてを配置し、来園者に充実したサービスを行います。 	<p>前年度から始めたパークセンター内におけるクイズ形式の自然解説をはじめ、生物情報マップの設置による来園者参加型の自然案内等がより分かりやすかつ楽しくなった。サービス向上のためのイベント展開では、ユリの連続講座や、カタクリフェスタの他に、地域と連携した数多くのイベントや手話を用いた障害者向けのイベント、震災をテーマとしたイベントなどを開催した。</p>
5	<p>○QRコードを活用した自然解説システムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度にQRコードを付けた樹名札を設置し、携帯電話等を用いて、より詳細な解説を掲示するようにしました。平成24年度はサクラの谷に植樹されているサクラの解説を検討します。 	<p>サクラの谷の既存のサクラ12種と、平成22年度に補植したサクラ7種についてQRコードを付けた樹名札を設置した。設置はサクラに関する自然観察会の最後に、来園者、ボランティア、公園職員で行った。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		87,053	0	12,723	99,776	99,776	0
予算額	前年度	78,330	0	11,929	90,259	90,259	0
	上半期	39,330	0	6,997	46,327	45,134	1,193
	下半期	39,000	0	4,932	43,932	45,125	▲ 1,193
	今年度	78,330	0	11,000	89,330	89,330	0
	上半期	39,097	0	6,587	45,684	45,684	0
	下半期	39,233	0	4,413	43,646	43,646	0
下半期実績額	10月	5,191	0	964	6,155	7,446	▲ 1,291
	11月	8,570	0	822	9,392	9,992	▲ 600
	12月	5,966	0	373	6,339	6,142	197
	1月	6,050	0	468	6,518	6,876	▲ 358
	2月	5,226	0	665	5,891	5,702	189
	3月	8,230	0	1,043	9,273	11,411	▲ 2,138
	今年度 下半期合計	39,233	0	4,335	43,568	47,569	▲ 4,001
	前年度 下半期合計	39,000	13	3,699	42,712	43,574	▲ 862
	対前年度下半期比			③	2.0%	9.2%	
参考	今年度 上半期合計	39,097	0	6,137	45,234	41,941	3,293
	今年度 合計	78,330	0	10,472	88,802	89,510	▲ 708

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	924	高圧負荷開閉器交換工（924千円）
下半期	0	
合計	924	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	112,704 人	114,781 人	▲ 1.8 %
11月	52,091 人	53,170 人	▲ 2.0 %
12月	30,671 人	30,158 人	1.7 %
1月	33,224 人	30,306 人	9.6 %
2月	34,092 人	30,112 人	13.2 %
3月	54,270 人	38,404 人	41.3 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	309,000 人	371,166 人	369,972 人	20.1 %	0.3 %
今年度下半期計	262,000 人	317,052 人	296,931 人	21.0 %	6.8 %
今年度合計	571,000 人	688,218 人	666,903 人	20.6 %	3.2 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	15 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	34 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	7 (0)	11 (2)	3 (0)	2 (0)	14 (0)	37 (2)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	北口身障者トイレの戸が重くて鍵がしまらない。力無い身障者が使えない。	扉の調整をしているが、吊部の損傷が激しいため、県と協議し、対応を検討する。
職員対応		
事業内容	滝の傍に咲いている白は花の名前を明示しておいてもらいたい。	樹名札はあるが、草本類の明示は多くはない。季節毎の設置を検討する。
その他	サクラの谷でいつも静かに食事をたのんでいるが、フルートを吹くひとがいてうるさい。許可しているのか。	大きな音を出さない楽器演習は禁止行為ではないので、その都度様子を見て判断する。
	ちびっこ広場で犬をはなし飼いにしている。	直ぐ確認に行ったがいなかった。園内放送、注意看板で注意を行っている。

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

利用者については、主に3月の桜の開花時期が昨年に比べて早まったことにより、昨年度の同時期と比較して約6.8%の増となった。

収入支出については、収入に対して支出が約9%増となっており、概ね良好な結果である。

維持管理についても概ね良好な管理が行われていると思われ、その中でも樹木管理は利用者の安全確保を優先した対策を講じるなど、大変良好な管理に努めていると思われるので、今後も引き続き今後も安全の確保に努めていただきたい。

イベント等の開催については概ね事業計画どおりの実施状況であり、特に「防災フェスタ」と称するイベントを新たに開催し、東日本大震災を忘れないために防災クイズラリーを実施、横浜市の地域防災訓練に出席するなど、非常時における公園の役割と体制づくりを進める姿勢は評価できる。

苦情・要望等に対する対応状況については特に問題はなく、できるだけ指定管理者の責任において解決する姿勢が見受けられる点は評価できる。

不測の事故を予防するためにも、十分な警備体制に努めてほしい。